

# 受刑者の健康と刑務所生活 ～マザーハウス健康調査報告書～

日時:2019年10月13日(日) 13:00～16:00

場所:立正大学品川キャンパス4号館2階421教室

入場無料・申込不要

## 趣旨

NPO法人マザーハウスでは、中谷こずえさんと協力して、全国の矯正施設の収容者725名に健康に関するアンケートを実施し、284名から回答を得ました。この調査調査を踏まえ、受刑中や社会復帰後の健康と医療について”えんたく”方式で皆さんと課題を共有し、一緒に考えたいと思います。

なお、”えんたく”とは、ATA-netの開発した課題共有型のフォーカス・ミーティングの方式で、メイン・スピーカーが問題状況について15分程度の話題提供をし、これを受けて、ファーストテーブルのスピーカーが自分の持っている情報を順に話します。その後、相互に追加情報を提供し、その後に他の参加者と共に3名程度のグループを作って話し合います。再度、ファーストテーブル・スピーカーが情報交換をして、それぞれの考えたこと、感じたことなどを分かち合います。当事者を中心にした参加型・課題共有型の議論スキームです。

## スピーカー

**中谷 こずえ** (岐阜保健大学看護学部・講師)

**石塚 伸一** (龍谷大学法学部・教授)

**相澤 育郎** (立正大学・助教)

**中島 学** (美祿社会復帰促進センター・センター長)

**小林 誠** (多摩少年院医務課・課長、医師)

**五十嵐 弘志** (NPO 法人マザーハウス・理事長)

司会:**土山 希美枝** (龍谷大学政策学部・教授)

## 会場アクセス

所在地:

東京都品川区大崎4-2-16

アクセス:

JR大崎駅から徒歩5分。

JR五反田駅から徒歩5分。

大崎広小路駅から徒歩1分。



<http://www.ris.ac.jp/access/shinagawa/>

主催:ATA-net、NPO法人マザーハウス 共催:APS研究会

協賛:龍谷大学ATA-net研究センター、同犯罪学研究センター

科学技術振興機構「安全な暮らしをつくる新しい公/私領域の構築」研究開発領域・戦略的想像研究推進事業(社会技術研究開発)「多様化する嗜癖行動をめぐるトランス・アドヴォカシー・ネットワークの構築」